

# アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



## 署名(オンライン&署名用紙)

# 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2021/10/20

No. 12

賛同署名総数は	<b>28,498</b>	人 人 筆
10/19まで		
*オンライン署名	<b>4,414</b>	
*署名用紙署名	<b>24,084</b>	

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>



スマホはこちらから

みやぎ生協・コープふくしまは  
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水  
(冷却水などの汚染水)の海洋放出に反対です。  
反対署名運動へのご協力をお願いします。

オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。  
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。HPまたは事務局へお問い合わせ願います。

## < 署名呼びかけ人トップインタビュー 第1回 >

福島県生活協同組合連合会 吉川毅一 会長にお話を伺いました。  
~『ALPS処理水海洋放出に反対する署名』実施への思い~



吉川 毅一 会長

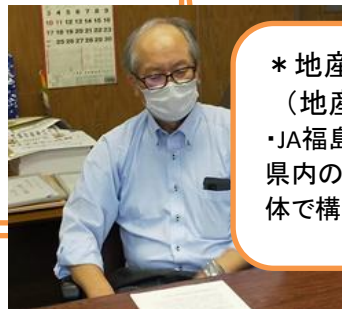


●福島県生活協同組合連合会  
<会員生協> みやぎ生協・コープふくしま、生協コープあいつ、生協パルシステム福島、生協あいコープふくしま、生活クラブふくしま生協、福島県学校生協、福島大学生協、福島医療生協、きらり健康生協、郡山医療生協、会津医療生協、浜通り医療生協、こくみん共済COOP福島推進本部

### ▶政府決定に断固反対

・4月13日に決定された政府の海洋放出方針の発表を受け、4月30日に「\*地産地消ふくしまネット」では記者会見を行い共同声明を発表しました。政府の発表は「貯蔵している汚染水については関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という約束を反故にする極めて不誠実な決定であり、地元関係者の懸念に対し十分な回答や説明がなされない状態での発表に怒りを覚えます。福島県生協連としては、漁業者はもとより国際社会や国民理解の醸成と世論の形成を通して福島県の漁業・水産業をはじめとした全ての産業において復興が進展していける確信が持てるまで、海洋放出に反対します。

▶まずは安全性の科学的根拠を明らかにすることが大事  
政府が安全性に自信を持っているなら「風評被害が起こらないよう徹底します」とはっきり言えばいいことです。損害賠償の話をするのは、風評被害が発生すると思っているからです。今後国は、風評被害に対して頑張っている個人や団体を敢えて取り上げていくことで風評被害の実態を曖昧にし、被害者間の分断を図ることも考えられます。安心感と安全性は別物であり、安全性が証明されても風評被害は起こりました。10年前に逆戻りするようなことはあってはなりません。



\*地産地消ふくしまネット  
(地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会)  
・JA福島中央会・県漁連・県森連・県生協連など福島県内の農林水産業者や消費者の協同組合など22団体で構成しています。



▶賛同・取り組み協力いただいております皆様へ  
賛同ありがとうございます。  
みやぎ生協・コープふくしまの学習会や推進ニュース発行により全国の生協にも少しずつ広がりを見せてきていると感じています。賛同していただいた生協や生協組合員、関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。どんな署名であっても自分に直接関係するか、多くの世論が後押しする状況でないと多くの賛同を得るのはむずかしいです。海はつながっているので、福島県だけの問題ではなく自分のこととして捉えられてもらえよう運動を広げていきたいです。引き続きお声をかけていただければと思います。

◇東日本大震災・原発事故以降、様々な取り組みを行ってきたからこそその視点、積もる思いが感じました。この10年間の経験を踏まえ署名運動を進めていきます。吉川会長の熱い思い、実直なお人柄が伝わるインタビューありがとうございました。



< 縁の下の力持ち！ふくしま県本部スタッフ紹介 >  
事務所に届くたくさんの署名用紙を集計してくれている職員。どのような思いでみなさまからの貴重な署名を集計しているのか、日々の思いを聞きました。

・署名数が目に見えて増えていき、手ごたえを感じながら集計しています。全国から署名が届き、福島だけの問題ではないと感じていただけていることが伝わってきています。

・たくさんの方にご協力いただき感謝しています。みなさまのおかげで活動を進めることができ、勇気をいただいています。ダメなことはダメだと声を上げることは大切です。

●署名用紙での署名  
全国からたくさん届いています。



< 賛同者コメント紹介 >  
・普通に考えてダメです。・風評被害ではなく被害です。やめてください。  
・今回のようにALPSにトラブルがあったとすれば処理できずに大量放出の懸念も。  
・放射性物質の危険性を知らされないまま、原発でつくられた電気を使っている。未来の子孫のために今できることをやりたいです。

### < 編集後記 > erikoのつぶやき

みやぎ生協こ〜ぷの森『小塚山』秋の自然観察会が行われました。たくさんの植物に触れながら自然の豊かさ、楽しさを教えてもらえます。1999年〜2001年に植林した栗のほか、自生のあけび、むかご、ホップ等々…宝の山。栗拾いがお目当ての参加者多数のなか編集者の狙いは「マタビ」。いわゆる猫の大好物です。前回参加した際に「マタビの実を食べると元気になって又旅(またたび)ができるようになった」という語源を覚えていただき感動。焼酎に漬けるとマタビ酒になると聞いて更に感激。以来すっかりマタビの虜です。マタビ酒が飲めるのは漬けてから3カ月〜半年後。おいしくな〜れと愛でながら熟成を待つ時間も楽しい日々です。



< 情報・お問い合わせ先 >  
みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内  
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局  
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F  
TEL024-557-1181 FAX557-5359 \* mail :sn.f10243sn@todock.coop (根本)

